

2008年12月10日

ASLE-Japan／文学・環境学会会員各位

会誌編集委員長 野田研一

『文学と環境』第12号 書評募集のご案内

会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、会誌編集委員会では、これまで『文学と環境』における書評を原則的に会員の皆様からの投稿にもとづいて掲載してきました。しかし、昨今、書評投稿が減少傾向にあることから、書評対象候補リストをお送りし書評を募集するというかたちを次号より導入したいと考えております。

つきましては、以下の書評対象候補リストをご覧いただき、書評を希望される方はお名前と書評希望書籍名を2009年2月2日(月)までに書評担当者までお知らせください。次号には5本程度の書評を掲載したいと考えております。また、以下のリスト以外の書籍に関する書評ももちろん受け付けております。皆様からのご応募をお待ちしております。

■書評対象候補リスト

生田省悟、村上清敏、結城正美編『「場所」の詩学——環境文学とは何か』、藤原書店、2008.

今村仁司『交易する人間(ホモ・コムニカンス)——贈与と交換の人間学』、講談社、2000.

加藤幸子『心ヲナクセ体ヲナクセ』、角川文庫、2008.

川本三郎『言葉のなかに風景が立ち上がる』、新潮社、2006.

小峯和明／ハルオ・シラネ／渡辺憲司編集『文学に描かれた日本の「食」のすがた——古代から江戸時代まで』「国文学 解釈と鑑賞」別冊、2008.

スコット・スロヴィックほか編著『エコトピアと環境正義の文学——日米より展望する広島からユッカマウンテンへ』、晃洋書房、2008.

鈴木貞美『生命観の探求——重層する危機のなかで』、作品社、2007.

西村頼男著『草が生い茂り、川が流れる限り——アメリカ先住民文学の先駆者たち』、開文社出版、2008.

ローレンス・ビュエル著、伊藤詔子ほか訳『環境批評の未来——環境危機と文学的想像力』、音羽書房鶴見書店、2007.

宮地尚子編著『性的支配と歴史——植民地主義から民族浄化まで』、大月書店、2008.

森崎和江『森崎和江コレクション——精神史の旅 1産土』藤原書店、2008.

矢野智司『動物絵本をめぐる冒険—動物—人間学のレッスン』勁草書房、2002.

若松美智子著『オホーツクの野生のうた——月の詩集』、星雲社、2008.

Ursula K. Heise, *Sense of Place and Sense of Planet: The Environmental Imagination of the Global*, Oxford University Press, 2008.

Ishimure Michiko, *Lake of Heaven*, Translated by Bruce Allen, Lexington Books, 2008.

Terry Tempest Williams, *Finding Beauty in a Broken World*, Pantheon Books, 2008.

『文学と環境』書評担当

結城正美

〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学 外国語教育研究センター

Tel. 076-264-5819, Fax: 076-264-5993

E-mail: yuki@ge.kanazawa-u.ac.jp